



2024年7月4日

各位

会社名 株式会社リベロ  
代表者名 代表取締役社長 鹿島 秀俊  
コード番号 9245 東証グロース  
問合せ先 常務取締役 経営管理本部長 横川 尚佳  
(TEL.03-6636-0300)

### よくある質問と回答 (2024年6月)

日頃より、当社へのご関心をいただきありがとうございます。2024年5月15日に公表した2024年12月期第1四半期決算について、投資家の皆様よりいただいた主なご質問とその回答について、下記の通り公表させていただきます。

なお、本公表は決算説明会に参加いただけなかった投資家の皆様への情報発信を目的に公表させていただいております。回答内容については、時点のずれによって表現が若干異なる場合がございますが、直近の回答内容を記載しております。

Q1. 法人企業向けサービスの「一部の収益が暦の関係で4月から3月に移った」に関して詳細をお伺いできますでしょうか。

A. 1年を通して3月から4月にかけての土日が引越しの最繁忙期となります。今年は3月30日(土)、31日(日)が該当します。昨年の引越しのピークは、4月1日(土)、2日(日)にずれこんでございました。お引越の完了をもって売上に計上となりますので、引越しのピークである、土日が昨年は4月計上され、今年は3月に計上されている、という内容でございます。

Q2. 繁忙期は引越しの手配漏れなどが多く発生するのでしょうか。

A. 当社サービスでは、全国217社の引越会社と提携させていただいており、強固なネットワークを構築できております。そのため、引越しの手配率は99%を超えておりご質問いただいているようなケースはほとんど発生しません。

Q3. 販管費を抑えられている要因は何になりますか。

A. 生産性が向上と、取引先との条件見直しが大きな要因となっております。上場後、投資期間として取り組んだ社内教育やシステム強化、業務効率化のDX推進などの成果が数字に表れてきているものと考えております。

Q4. 4月月次の前年比が落ちている要因は何かありますか。

A. 暦の影響で4月の収益が3月に移ったことが挙げられます。3月4月合計での前年比だと120.8%、4月まで累計の前年比ですと124.6%となっており順調であったと認識しております。また5月以降も計画通り進捗する見通しでございます。

Q5. 「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況及び上場維持基準の適合に向けた計画期間の変更について」に関してですが、「役員が保有する株式について具体的な売却手法及び売却時期が決まらず」というのは、やはり役員の皆様も今後の見通しについて強気にみているため、現状の株価では売れないというような側面もあるのでしょうか。

A. ご理解いただいておりますとおり、現時点において具体的な売却手法や売却時期については決まっております。

期限の延長については、東証が認める期限まで延長とすることで、その期間を最大限に活用する趣旨のものでございます。

役員が現状の株価では売れないのか？とのご質問に関するコメントは差し控えさせていただきますが、当社といたしましては、より一層の企業価値向上に努め、株価の向上に繋がるよう IR 活動等を通じて投資家の方々とのコミュニケーション強化を図ってまいります。

以上